

# 授業改善等に関する報告書（2021年度前期）短期大学部

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（前期）英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Workshop A	大倉恭輔	コメントが遅れて申し訳のないことです。文章作成の上達は「量をこなす」ことが大切ですが、14回という授業回の中で説明に時間を取りすぎたかもしれません。これからも「推敲」の「重要さを理解して、文章表現に磨きをかけてください。
卒業演習 A	武内一良	この卒業演習は、卒業論文の小型版である「卒業小論文」を執筆することが中心となる授業です。そのため、研究とは何か、論文とはどのようなものかについて理解するところから始まるので、学生にとっては難しい課題となります。そうした背景があるにもかかわらず、設問14（自己評価）が高い結果となっています。難しい課題を乗り越えている最中の自分に自信がついてきているのだと思います。前期まではまずまずいい展開となっているようです。
卒業演習 A	エドワーズ, マイケル・アンソニー	I'm pleased to see that my zemi students are benefitting from the work and preparation I have put into providing them good material and explanation.
ステップアップ英語	エドワーズ, マイケル・アンソニー	With only 6 students enrolled it made it easy to have close contact with each student. It was a satisfying experience to be able to help each student improve.
コンシェルジュ論	池田里香子	本授業の到達目標は、「コンシェルジュ」という職業を通してマナー、コミュニケーション能力、国際性を修得し実践に活かす一としていた。分析結果から理解度、到達度、自己成長を実感してもらえたと言える。そして授業に満足感があり、更なる興味を抱いてもらう事が出来た。次回より予習の課題提起や復習をもっと促す様にしたい。
比較文化論 A	久保田佳枝	この授業では各学生の異なる意見を知ることを通して「みんな違ってみんないい」という身近にある文化の違いを知って頂きながら、日本と諸外国の文化の違いをみてきました。レスポンスを通じて皆さんからの活発な発言があり、実のあるディスカッションも数多くできましたね。講義回数が進むにつれて、皆さんが学年や意見の違いに関係なく自分の意見を発言・発表できるように成長してくれたことに、科目を担当した私も大変嬉しく思います。引き続き他の授業も、この調子で取り組んでいきましょう。
卒業演習 A	三田薫	「日本語で物語を作ることも難しかったけれど、英語で表すのは更に難しかったです。ですが出来上がった作品を見て達成感でいっぱいです。」など、本格的なストーリー作りをよく頑張りましたね。後期はさらに磨きをかけていきましょう。
異文化コミュニケーション論	久保田佳枝	コメントありがとうございます。今回「スライドめくりが速すぎてノートがとれない」というコメントを頂きました。この件に関しては、授業中何度となく説明してまいりましたとおり、スライドのほとんどはテキストに記載されており、またスライド中にページ数の記載をしています。加えてテキストにない内容に関するスライドについては常に「テキストにない」とを言及し、注意して聞くように促してまいりました。そのためノートの取り方に関してはスライド全部をノートに記載する必要はないと何度となくお伝えしています。短大での授業は事前学習が義務づけられておりますので、授業に出席してはじめて内容に触れるのではなく事前にある程度内容を把握し、理解できなかった部分を授業で理解を深めるなどするよう、必ず事前学習を行ってから授業に臨むようにして頂きたくお願いいたします。特に、理論を説明する授業ですので、英語クラスとは全く勉強の仕方が異なります。英コミ専門科目の中では数少ない理論科目ですが、後期も複数の理論科目がありますので、各自にあった効果的な学習方法を身につけていきましょう。
観光概論	武内一良	この科目は大変難しい内容を多く含んでいて、しかも自分で選択できない必修科目ですので、学生の立場から見れば高い評価はつけにくいところです。しかしながら、今年度の評価は設問8（双方向の工夫）と設問10（聞き取りやすさ）において全体の平均を若干ではあるが上回っている点は嬉しい結果です。引き続き分かりやすい授業を目指していききたいと思います。
Writing C	久保田佳枝	この授業は、英コミを卒業する前に「これだけは理解していて欲しい」という英語構文や語法を集中的に学ぶ内容になっておりましたが、レベル別ではなかったため、学生の皆さんの英語レベルによっては、難しく感じたり、また反対に簡単すぎると思われたり、とあったかと思えます。英語は、地道に勉強を継続することで使えるようになります。ですので、簡単すぎると思われた学生さんも今一度教材の総復習をおすすめいたします。また難しいと感じた学生さんは、教材の単語や語法を覚えることを継続して行っていきましょう。
ListeningA(E④)	藤原正道	アンケートに回答してくれた皆さん、ありがとうございます。対面と遠隔形式の両方で慣れないことも多かったかと思えます。Listeningはすぐに能力が伸びないので、地道に頑張ってください。さらに授業方法の工夫も重ねたいと思います。
卒業演習 A	大倉恭輔	コメントが遅れて申し訳のないことです。後期はがんばりましょう。

[2021（前期）英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
WritingA(E⑤)	藤原正道	アンケートに回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 対面と遠隔形式の両方で慣れないことも多かったかと思えます。 英文法の基本を身につければ、他の能力の向上も実感できると思えます。 さらなる成長を期待します。 授業方法の工夫もさらに重ねたいと思えます。
EffectiveA(E①)	エドワーズ, マイケル・アンソニー	Both Effective English classes were hard working. They were motivated to do presentations and students at both levels presented better than expected.
英語学A	藤原正道	アンケートに回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 対面と遠隔形式が混在して、説明もホワイトボードとパワポが入り交じって混乱したかもしれませんね。もう少し工夫したいと思えます。
卒業演習A	藤原正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 対面のような活気ある遠隔形式、遠隔形式の意見の言いやすいクラスの雰囲気配慮したつもりです。 皆さんが、疑問点は授業前に調査し、自分の意見をまとめていた点はとても良かったと思えます。原稿を読むだけでなく、他の学生に分かりやすく聞いてもらう配慮があれば、もっと良いゼミになることでしょう。 後期も頑張りましょう。
ReadingC	エドワーズ, マイケル・アンソニー	I was pleased to see that the majority of students found the class useful.
英語音声学A	萩野敏	履修者数が100名を超えることの多い授業で、今年度は109という履修者数でした。「空き時間があつたから」という理由で履修していた学生が16%ほどでしたが、「授業内容に興味があつたから」という理由で履修した学生が66%ほどと、強い学習意欲を持った受講者が多数いました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が多かったと感じています。総合満足度の平均は4.51と、昨年同様に高めの値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んでいければと思えます。
観光英語	武内一良	観光英語は、新型コロナの前までは対面で授業を行っていたため、英語ができない学生に対して手厚い説明を直接対面で行えたので、授業自体は非常に理解しやすいとの評価を得ていました。しかし、英語に苦手意識を持つ学生にとってオンデマンドでの授業は自己管理が難しく、参加意欲が低下してしまいう傾向にあります。このオンデマンドの壁を乗り越えることはなかなか難しい問題です。どう打破していくか、これからも引き続き探っていきます。
EffectiveA(E③)	エドワーズ, マイケル・アンソニー	Both Effective English classes were hard working. They were motivated to do presentations and students at both levels presented better than expected.
発音演習A	藤原正道	アンケートに回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 対面と遠隔の入り交じった学期になってしまいましたが、いかがだったでしょうか？対面では、一人一人にアドバイスができ、良かったと思えます。 それぞれに正しい発音が身につけば、良いと思えます。
Workshop B	三田薫	皆さんのコメントから、外国人と話すことにだんだん抵抗がなくなってきていることが分かりました。「自主的にやっていると楽しくなるし、慣れてくるとコツがつかめた」など、授業以外でも自主的にレッスンを受けている人が何人もいることは素晴らしいことです。
WritingA(E④)	藤原正道	アンケートに回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 対面と遠隔形式の両方で慣れないことも多かったかと思えます。 文法の基本を身につければ、さらなる成長を実感できることでしょう さらに授業方法の工夫も重ねたいと思えます。
キッズイングリッシュ	三田薫	学期末模擬レッスンでは、勇気をもってすばらしい発表をしてくれました。「人の前で発表したり、グループで話して発表を考えたり、協調力など身についた。」等、グループワークで頑張ってくれたことが伝わってきました。
ListeningA(E③)	藤原正道	アンケートに回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 対面と遠隔形式の両方で慣れないことも多かったかと思えます。 さらに授業方法の工夫を重ねたいと思えます。
Workshop C	三田薫	「自分の言いたいことを以前よりすらすら英語で言えるようになった」など、毎週海外の講師とオンラインで会話することでどんどん自信をつけていることが分かり、とてもうれしく思えます。

[2021（前期）英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英米言語文化論 A	萩野敏	<p>昨年同様に、「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が6割程度いて、以前は同程度いたこともある「空き時間があったから」という理由で履修した学生は2割以下でした。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が少なくなかったと感じています。総合満足度の平均は4.64と、とても高い値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んでいければと思います。</p>
都市文化研究	大倉恭輔	<p>コメントが遅れて失礼しました。話題が多岐にわたって、わかりにくくなったかもしれませんね。ただ、「都市の文化の多様性」を体感してもらうことも授業目的のひとつでしたので、ああいうかたちになっています。何かひとつでも印象に残ってくれればと思います。</p>
卒業演習 A	久保田佳枝	<p>多くのみなさんが就職活動中ということも重なり、COVID-19という慣れない環境において、定期的な出席が難しい方も見られましたが、課題にはきちんと取り組んで頂き、ありがとうございました。提出されたレジュメ、プレゼン、また全体やグループでのディスカッションでは、理論的背景や皆さんの経験等に基づき、大変よくできており、皆さんの成長をみることができました。後期もこの調子で楽しくコミュニケーションに関する理解を深めていきましょう。</p>
卒業演習 A	萩野敏	<p>今年度は昨年度とは異なり、後半は教室での対面形式となり、ずっとオンライン授業だった昨年と比較すると、学生も演習らしさを体験できたと思います。総合評価の4.88をはじめ、全体的にとっても高い評価を得ることができました。毎年のことですが、学生の発表が中心となる演習なので、この形式の授業評価にはやや戸惑いがあるように見受けられました。</p>